

ファクトシート

日本・韓国サプライチェーン・パートナーシップ協力覚書

日本経済産業省（METI）と韓国産業通商部（MOTIR）は、二国間の協力関係を強化し、サプライチェーンの強靱性を高めるため、サプライチェーン・パートナーシップ協力覚書に署名しました。この協力覚書は、混乱への備え（Readiness）、混乱からの回復（Restoration）、混乱への耐性強化（Resilience）という サプライチェーンに関連した 3 つの R の原則に基づいています。

協力の主要分野：3 つの R

1. 混乱への備え（Readiness）：サプライチェーンの混乱への備え

- 両参加者は、サプライチェーンの政策、運営、管理に関する専門知識と最良の慣行を共有する。
- 必要に応じて、サプライチェーンの混乱の兆候が発見された場合、一方の参加者は他方の参加者に通知する。

2. 混乱からの回復（Restoration）：影響を受けたセクターの復旧・回復協力

- サプライチェーンの混乱が発生した場合、いずれの参加者も、混乱に対応し、影響を最小限に抑えるための緊急会合を要請することができる。支援措置には、最良の慣行や経験の共有、回復を支援するための事業取引のあっせん、ステークホルダーに対する代替供給源の模索奨励、その他必要な支援が含まれる。会合は、正当な理由がない限り、要請から 5 日以内に開催される。
- 両参加者は、サプライチェーンの強靱性に影響を与える、不必要な貿易制限や障害を最小限に抑えるよう努める。いずれの参加者も、協議を要請し、そのような貿易制限や障害について意見するための合理的な機会を持つことができる。

3. 混乱への耐性強化（Resilience）：重要分野における協力強化

- 両参加者は、以下の分野において協力する。
- (a) グローバルサプライチェーンの課題に対する協調的対応**
 - 炭素排出規制、過剰生産能力等、グローバル貿易環境の変化に伴う悪影響を緩和するための協力。
 - (b) 重要鉱物に関する協力**
 - 必要に応じた代替供給源の共同探査や投資の検討
 - 採掘による環境への影響を最小限に抑え、資源を効率的に利用するための技術、及び製錬・精製での廃棄物削減技術に関する協力
 - (c) 資源産業に関する協力**
 - 潜在的な資源探索や投資機会の創出にかかる取組の推進
 - 安定した資源サプライチェーンのためのリスク管理の推進
 - LNG のサプライチェーン協力に関する連携